



木でつくろう! 手でつくろう!

DIY! TAMAWOOD

多摩の森からのおくりもの

たまウツド

木のやさしさ、忘れていませんか？

むかし、と言ってもほんの数十年前かそこらの話です。
日本人の身の回りには、木で造られた製品が
あふれていました。
みなさんの家にも、そんなもののいくつかが
残っていませんか？

使い古されてつやつやになった木肌に触れたとき、
とってもやさしい感じがしませんでしたか？

多摩の森から伐りだした、東京生まれの木のパーツを、
道具を使わず自分の手だけで組み立てる。

木の香りをかぎながら、
やさしい感触を味わいながら。

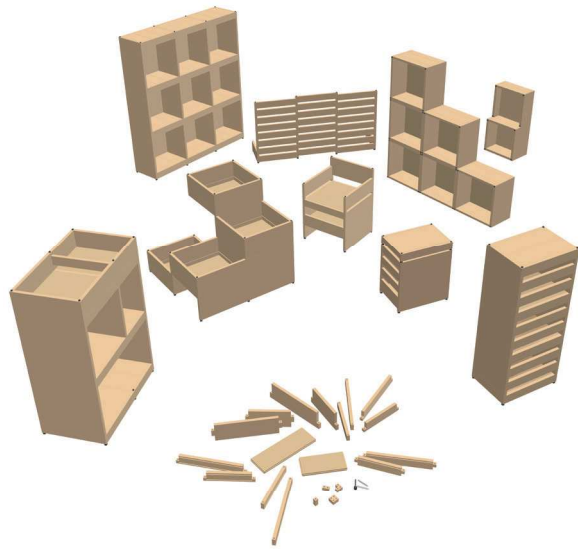
TAMAWOOD は、
そんな自然の温もりを、みなさんにお届けします。



触ってみよう! TAMAWOOD

多摩の森からのおくりもの

さあ、シンプルなパーツから、世界でひとつ…
自分だけのものをつくろう!



木でつくるって
「おもしろい」



シンプルなパーツだけで何ができるのか。頭の中で想像するのは意外と難しいですが、パズルのようなおもしろさにいつの間にか大人も子どもも夢中です!

木でつくるって
「あったかい」



プラスチックや金属、ガラスなどでは味わえない、生きている素材の温かさ。自分の手で直に触れていると、自然と気持ちがリラックスしてきます!

木でつくるって
「なつかしい」



折ったり伐ったり削ったり。木に触れているだけでなつかしい感じがしてくるのは、わたしたち日本人のDNAに木の感触が刻み込まれているからでしょうか?



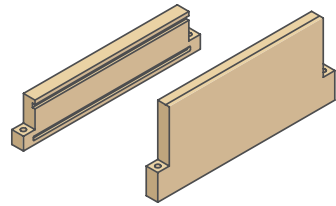
発想しだいで
組み方は無限大!

TAMAWOOD はエコウッド。一度組み立てても、分解すれば別のものに生まれ変わります。

TAMAWOOD は道具いらず!

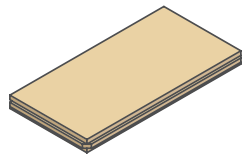
手で組み立てるから、子どもでもカンタン

「4つの基本パーツ」



サイドパネル

まわりを囲んで外側の形を決めるパーツです。



フラットパネル

サイドパネルの溝にはめ込んで平面をつくります。



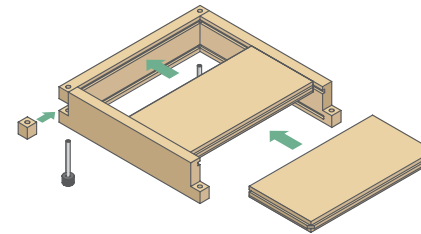
パイプ + ねじ

サイドパネルで囲んだ枠を固定したり、重ねたりするときに使います。



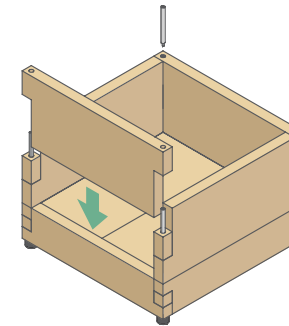
スペーサー、 ジョイント

サイドパネルの接合部の切り欠きを調整したり、サイドパネルをつなぐときに使います。



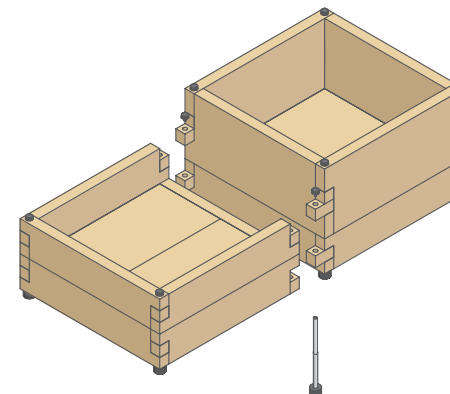
「組む」

- サイドパネルを組み合わせて枠をつくる
- フラットパネルを入れて棚にする



「重ねる」

- 枠を重ねて必要な段をつくる
- フラットパネルを利用して引き出しやふたをつくる



「つなげる」

- ジョイントを利用して横につなげる
- ジョイントを工夫すれば飛び出す棚もつくれるよ

TAMAWOOD ショールーム

あんなものも、こんなものも TAMAWOOD



おもいおもいの 木のカタチ

イスになったと思ったら、
こんどもはテーブルに変身！
つくってこわしてまたつくる。
どんどんつなげば、
夢もひろがります。
世界にひとつ、
あなただけの作品の完成です！



TAMAWOOD ストーリー

多摩の森、日本の森を守ろう!

安い輸入材におされて国産の木材は売れません。売れないからせっかく育った森の木は放置され、間伐もされない森の環境は悪くなる一方です。そればかりか、花粉症の元凶としてたいへんな悪者扱ひまでされています。

2005年9月に青梅在住の作家やアーティストを中心に立ち上げられた『青梅アートジャム』でも、地産地消という観点からアートが地元になにかできないかということで、地元資源である多摩産材の有効利用に積極的に取り組んできました。

最初は経木

多摩の森の手入れをするためには、多摩の木を使った製品を買ってもらわなければなりません。そこで、地元で作られる経木を使った製品を考えました（2007年、青梅市ものづくり支援事業）。ところがしばらくして東京から経木の工場がなくなってしまったのです。



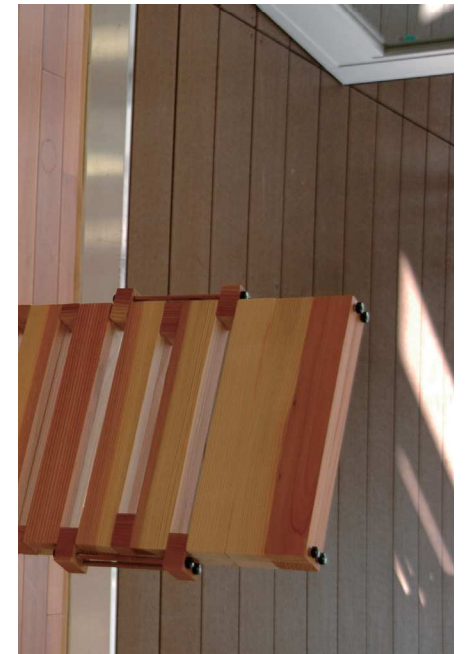
組立家具に挑戦

経木が手に入らなくなっても、森はありますから諦めるわけにはいきません。角材や板なら手に入るわけですから、こんどはこれを使った組立家具に挑戦しました。



いよいよ TAMAWOOD

試作品は重かったり、組立が大変だったり…さまざまな困難がありました。家具には素人の私たちですが、多摩の森を思う気持ちでひとつひとつ乗り越えて、やっとたどり着いたのが TAMAWOOD です。ワークショップでの評判も悪くなく、製品の姿もしっかり見えてきました。日本の森を守るため、もうひと頑張りです!



TAMAWOOD ワークショップ

木に触れると、みんな笑顔!

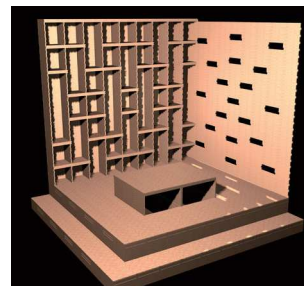
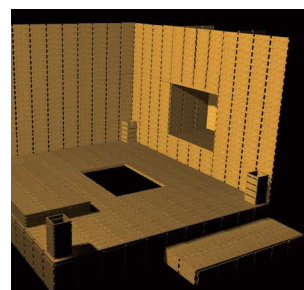


早稲田大学理工学術院にて 教材として使用

コンピュータグラフィックスを使って TAMAWOOD の可能性を追究。

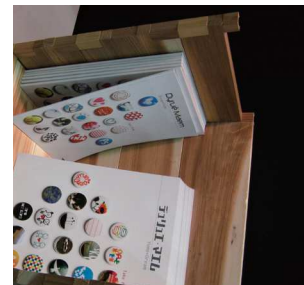
ワークショップ in 2009 青梅アート・ジャム

記念すべき最初のワークショップ!



TAMAWOOD ワークショップ

木に触れると、みんな笑顔!



東京コミュニケーションアート専門学校 卒業制作展で展示 & ワークショップ

若者にも大人気で、ずっと離れない人もいました。

ワークショップ in 青梅市中央図書館

子どもからお年寄りまで興味津々!
全国紙でも紹介されました。



TAMAWOOD ワークショップ

木に触れると、みんな笑顔!

森を思う、みんなの気持ちを、 TAMAWOOD でつなげたい!

試行錯誤を繰り返し、やっと製品の形になってきた TAMAWOOD。私たちはこの森を思う気持ちを、TAMAWOOD にのせて日本中、世界中の森に広げたいと考えています。

すでに「みんなの森」の人たちとは、森の手入れなどで定期的に交流が行われていますが、そのほか各地のNPOなどからもお問い合わせをいただき、さらなる交流にも期待しています。最近ではテレビ取材（韓国 KBS、NHK など）の依頼も受けて反響の大きさに手応えを感じるとともに、責任も感じています。

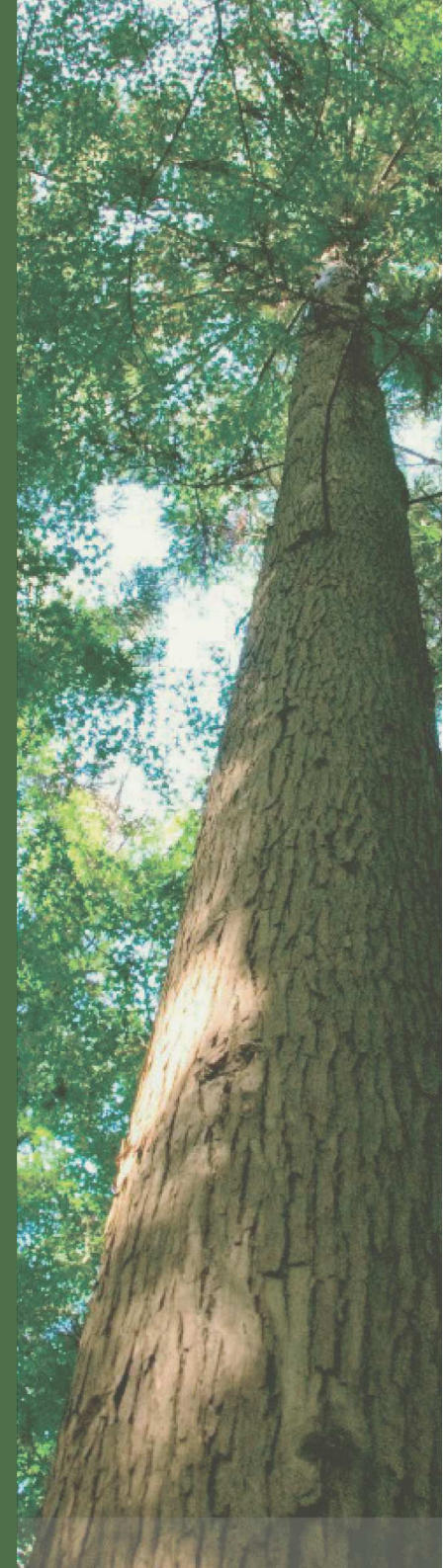
また 2007~08 年の青梅市からの支援に続いて、2009 年度は東京都の多摩産材利用拡大事業に選定され、この小冊子もその活動の一環として制作されたものです。このあとは港区立エコプラザでのワークショップ（3/28（日））なども計画しています。

森と地元と都会。TAMAWOOD は持続可能な未来のために、みんなの気持ちをひとつにつなげたいと思っています。



「みんなの森」の人たちと

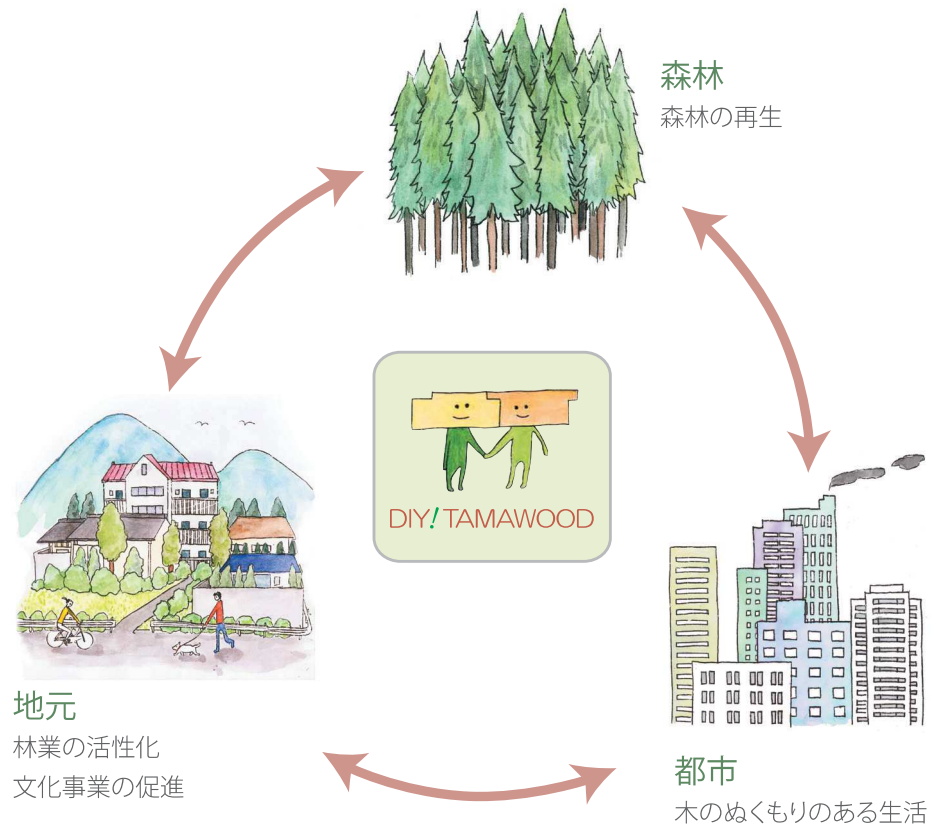
森の手入れを指南して下さる「みんなの森」の人たちと。
韓国のテレビ局、KBS の取材がありました。



森と都会をアートでつなごう!

多摩の森、日本の森、世界の森の未来のために

森がささえる都市、都市がささえる森。



木のぬくもりが森と都市を結びつけ、森を再生させる

TAMAWOOD は、 森と地元と都会の共生を目指します。

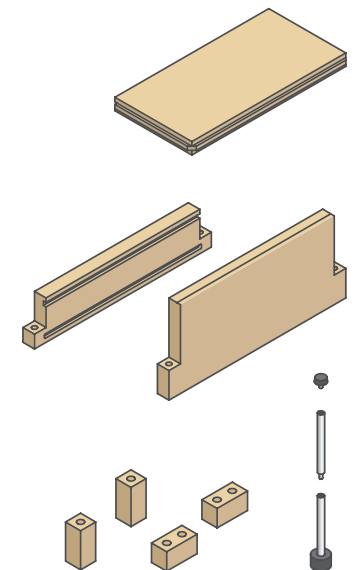
TAMAWOOD の売上は森の整備や、地元でのアートイベントなどに使われます。

また、TAMAWOOD を通じて森やアートに関心を持った人々にも、山に入って本当の森林に触れてもらいたいと思っています。来てくれた人には「森のマイレージ」を発行し、これを使って TAMAWOOD が買えたり、地元のアートイベントに参加できたりするようなシステムも考えています。

森を守ることは人間を守ること。そんな持続可能な循環システムが TAMAWOOD の目標です。

そして、多摩の森から日本の森へ、日本の森から世界の森へとこの仕組みを広げていきたいと思っています。

TAMAWOOD から EARTHWOOD へ。それが私たちの願いです。



* TAMAWOOD は特許出願中です。



発行 / 制作：DIY! TAMAWOOD 制作委員会
青梅アート・ジャム 実行委員会
NPO 文化交流機構「円座」



DIY! TAMAWOOD

お問い合わせ：NPO 文化交流機構「円座」事務局

〒158-0097 東京都世田谷区用賀 3-25-1 TEL 03-6411-7358 enza@wave.dti2.ne.jp